

2014 年度（平成 26 年度）事業報告書

2015 年 5 月

学校法人 京都精華大学

目次

1. 法人の概要	-----	3
(1) 建学の精神		
(2) 学校法人の沿革		
(3) 設置する学校・学部・学科等		
(4) 役員に関する情報		
(5) 教職員に関する情報		
(6) 施設等の状況		
(7) 学生数		
(8) 就職等の状況		
2. 事業の概要	-----	12
(1) 教育事業		
(2) 研究事業		
(3) 社会連携		
(4) 学生支援		
(5) 管理運営		

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

本学の建学の理念は、初代学長の岡本清一が本学の前身である京都精華短期大学の設立時に提示した以下の「教育の基本方針に関する覚書」に立脚する。

1. 京都精華短期大学は、人間を尊重し、人間を大切にすることを、その教育の基本理念とする。この理念は日本国憲法および教育基本法を貫き、世界人権宣言の背骨をなすものである。
2. 京都精華短期大学は特定の宗教による教育を行わない。しかし諸宗教の求めてきた真理と、人間に対する誠実と愛の精神は、これを尊重する。
3. 学生に対しては、師を敬うことが教えられる。師を敬うことなくして、人格的感化と学問的指導を受けることはできないからである。そして敬師の教育を通じて、父母と隣人とに対する敬愛の心を養う。
4. 教員の学生に対する愛情責任は、親の子に対するそれが無限であるように、無限でなければならない。職員もまた教員に準じて教室外教育の一斑の責任を負う。
5. 学内における学生の自由と自治は尊重され、その精神の涵養がはかられる。従って学生は、学内の秩序と環境の整頓に対して責任を負わなければならない。
6. 礼と言葉の紊れが、新しい時代に向かって正され、品位のない態度と言葉とは、学園から除かれなければならない。
7. かくしてわが京都精華短期大学における教育の一切は、新しい人類史の展開に対して責任を負い、日本と世界に尽くそうとする人間の形成にささげられる。

(2) 学校法人の沿革

年 度	事 項
1968 (昭和 43) 年	4 月 京都精華短期大学開学 (設置者：学校法人京都精華学園)。英語英文科 (入学定員 100 名)、美術科 (入学者定員 50 名) を設置。
1970 (昭和 45) 年	4 月 美術科・英語英文科に専攻科を開設。
1979 (昭和 54) 年	4 月 京都精華大学開学。美術学部造形学科 (専門分野は洋画・日本画・立体造形。入学定員 60 名)、美術学部デザイン学科 (専門分野はデザイン・染織・マンガ。入学定員 60 名) を設置。短期大学を短期大学部に名称変更。
1982 (昭和 57) 年	4 月 京都精華大学短期大学部美術科および美術専攻科を廃止。
1987 (昭和 62) 年	4 月 美術学部造形学科に版画分野・陶芸分野、デザイン学科に建築分野を開設。
1989 (平成元) 年	4 月 人文学部人文学科開設 (短期大学英語英文科を改組)。

年 度	事 項
1991 (平成 3) 年	4 月 京都精華大学大学院開学 (美術研究科造形専攻・デザイン専攻)。
	6 月 京都精華大学短期大学部廃止。
1993 (平成 5) 年	4 月 大学院に人文学研究科を開設。
	12 月 学校法人木野学園の設置。
2000 (平成 12) 年	4 月 人文学部に環境社会学科、芸術学部にもマンガ学科 (ストーリーマンガ、カートゥーンマンガ) を開設。 美術学部を芸術学部に変更。大学院美術研究科を芸術研究科に変更。
2003 (平成 15) 年	4 月 学校法人名を「学校法人木野学園」から「学校法人京都精華大学」に変更。人文学部人文学科を改組再編し、社会メディア学科・文化表現学科を設置。大学院芸術研究科に芸術専攻博士後期課程を開設。
2006 (平成 18) 年	4 月 デザイン学部 (ビジュアルデザイン学科・プロダクトデザイン学科・建築学科)、マンガ学部 (マンガ学科・マンガプロデュース学科・アニメーション学科) を開設。芸術学部は造形学科を再編し、素材表現学科・メディア造形学科を開設。
	11 月 烏丸御池に京都国際マンガミュージアムを開設 (京都市との共同事業)。
2008 (平成 20) 年	4 月 学校法人インターナショナル学園 (専修学校京都インターアクト美術学校設置者) と合併。
2009 (平成 21) 年	4 月 人文学部 (環境社会学科・社会メディア学科・文化表現学科) を改組再編し、総合人文学科を開設。
	3 月 京都インターアクト美術学校を廃止。
2010 (平成 22) 年	4 月 大学院にデザイン研究科・マンガ研究科を開設。
	8 月 四条烏丸に産学連携サテライトスペース kara-S を開設。
2012 (平成 24) 年	4 月 大学院マンガ研究科に博士後期課程を開設。
2013 (平成 25) 年	4 月 ポピュラーカルチャー学部を開設。デザイン学部イラスト学科を開設。マンガ学部マンガ学科を再編し、ギャグマンガコース、キャラクターデザインコースを開設。

(3) 設置する学校・学部・学科等

◎設置する大学 (2014年5月1日現在)

設置者 学校法人 京都精華大学
 所在地 京都市左京区岩倉木野町 137 番地
 理事長 赤坂 博
 設置する学校 京都精華大学 (学長 竹宮恵子)

◎設置する学部等 (2014年5月1日現在)

	学部・研究科	学 科	開設年	摘要
学 部	芸 術 学 部	造 形 学 科	1979 (昭和 54) 年	
		素 材 表 現 学 科	2006 (平成 18) 年	
		メ デ ィ ア 造 形 学 科	2006 (平成 18) 年	
	デ ザ イン 学 部	ビ ジ ュ アル デ ザ イン 学 科	2006 (平成 18) 年	
		プ ロ ダ ク ト デ ザ イン 学 科	2006 (平成 18) 年	
		建 築 学 科	2006 (平成 18) 年	
		イ ラ ス ト 学 科	2013 (平成 25) 年	
	マ ン ガ 学 部	マ ン ガ 学 科	2006 (平成 18) 年	
		マ ン ガ プ ロ デ ュ ー ス 学 科	2006 (平成 18) 年	2013 年 4 月 募 集 停 止
		ア ニ メ ー シ ョ ン 学 科	2006 (平成 18) 年	
	人 文 学 部	社 会 メ デ ィ ア 学 科	2003 (平成 15) 年	2009 年 4 月 募 集 停 止
		文 化 表 現 学 科	2003 (平成 15) 年	2009 年 4 月 募 集 停 止
		環 境 社 会 学 科	2000 (平成 12) 年	2009 年 4 月 募 集 停 止
		総 合 人 文 学 科	2009 (平成 21) 年	
ポ ピ ュ ラ ー カ ル チ ャ ー 学 部	ポ ピ ュ ラ ー カ ル チ ャ ー 学 科	2013 (平成 25) 年		
大 学 院	芸 術 研 究 科	博 士 前 期 課 程	1991 (平成 3) 年	
		博 士 後 期 課 程	2003 (平成 15) 年	
	デ ザ イン 研 究 科	修 士 課 程	2010 (平成 22) 年	
	マ ン ガ 研 究 科	博 士 前 期 課 程	2010 (平成 22) 年	
		博 士 後 期 課 程	2012 (平成 24) 年	
	人 文 学 研 究 科	修 士 課 程	1993 (平成 5) 年	

(4) 役員に関する情報

◎理事 (2015年3月31日現在)

定員数：8～10人、現員10人

区 分	氏 名	常勤・非常勤の別	摘 要
理事長	赤坂 博	常 勤	2002年12月～2005年12月専務理事、常務理事（総務担当） 2005年12月～2008年12月専務理事、常務理事（企画担当） 2008年12月 理事長就任
学 長	竹宮 恵子	常 勤	2014年4月 学長就任
専務理事	石田 涼	常 勤	2008年12月～2011年12月 常務理事（企画担当） 2014年12月 専務理事、常務理事（企画担当）就任
常務理事	武田 恵司	常 勤	2011年12月～2015年3月 常務理事（学生担当） 2015年4月 常務理事（教育企画担当）就任
常務理事	吉村 和真	常 勤	2014年12月 常務理事（教学担当）就任
常務理事	高橋 勇	常 勤	2014年12月 常務理事（総務担当）就任
理 事	安村 幸駿	非常勤	2008年12月 理事就任
理 事	高瀬 哲	非常勤	2011年12月 理事就任
理 事	納谷 廣美	非常勤	2013年5月 理事就任 （明治大学学事顧問、明治大学名誉教授、学校法人明治大学評議員）
理 事	櫻井 謙次	非常勤	2013年5月 理事就任

◎監事 (2015年3月31日現在)

定員数：2～3人、現員3人

監 事	崎間 昌一郎	非常勤	1996年12月 監事就任 （京都総合法律事務所弁護士）
監 事	位ノ花 俊明	非常勤	2007年5月 監事就任 （社会福祉法人 百万遍ともいき会理事）
監 事	堂山 道生	非常勤	2002年12月～2008年12月 評議員 2008年12月 監事就任 （㈱システムディ代表取締役会長）

◎評議員 (2015年3月31日現在)

定員数：21～23人、現員23人

氏名	主な現職等
赤坂 博	学校法人京都精華大学 理事長
竹宮 恵子	京都精華大学 学長
武田 恵司	学校法人京都精華大学 常務理事、京都精華大学 副学長（学生担当）
吉村 和真	学校法人京都精華大学 常務理事、京都精華大学 副学長（教学担当）
石田 涼	学校法人京都精華大学 専務理事、常務理事（企画担当）兼務
高橋 勇	学校法人京都精華大学 常務理事（総務担当）
ウスビ・サコ	京都精華大学 人文学部 教授
佐藤 守弘	京都精華大学 デザイン学部 教授
佐藤 一進	京都精華大学 芸術学部 講師
細谷 周平	京都精華大学 教務部事務部長
和田 誠	京都精華大学 キャリア支援室長、キャリア支援課長
西口 直樹	京都精華大学 教務課長
上村 多恵子	京南倉庫株式会社 取締役社長
栗山 裕子	建築家、WIN 建築設計事務所主宰
稲垣 秀樹	元天理高等学校 教諭
寺本 義明	元京都市立醍醐中学校校長
河村 純子	河村能舞台、能楽普及協会理事
中西 恵一	敦賀市立中央小学校校長
呉羽 伊知郎	株式会社エトレ代表取締役社長
納屋 嘉人	株式会社淡交社代表取締役社長 兼 CEO
杉浦 章介	有限会社杉浦熔接 代表取締役社長
三村 一郎	株式会社三國屋 代表取締役社長
谷 眞美子	英語教室キッズクラブ代表、同窓会木野会会長

(5) 教職員に関する情報

◎教職員数 (2014年5月1日現在)

(単位：人)

教育職員	所 属	専任教員	特任教員	嘱託助手	計
	芸術学部	31	5	7	43
	デザイン学部	24	5	6	35
	マンガ学部	27	14	7	48
	ポピュラーカルチャー学部	7	8	2	17
	人文学部	32	3	0	35
	キャリアデザインセンター	0	2	0	2
	計	121	37	22	180
事務職員	所 属	専任職員	嘱託職員	契約職員	計
	法人部門	25	3	0	28
	大学部門	32	3	10	45
	計	57	6	10	73
合 計					253

(6) 施設等の状況

◎現有施設設備の面積 (2015年3月31日現在)

校地面積 227,197.45 m²

(自己所有校地：224,423.60 m²、借用校地：2,773.85 m²)

校舎面積 70,926.68 m²

(7) 学生数

◎2014年度学生数 (2014年5月1日現在)

(単位:人)

学部	学科	入学定員	収容定員	現員数	コース/学年					
					コース	1年	2年	3年	4年	コース計
芸術学部	造形学科	112	448	424	洋画	44	41	37	53	175
					日本画	44	43	41	38	166
					立体造形	20	22	22	19	83
	素材表現学科	64	256	149	陶芸	10	17	9	13	49
					テキスタイル	20	25	20	35	100
	メディア造形学科	64	256	244	版画	28	34	36	35	133
				映像	26	35	21	29	111	
	計	240	960	817	学年計	192	217	186	222	817
デザイン学部	イラスト学科	64	256	128	イラスト	65	63	-	-	128
	ビジュアルデザイン学科	64 (96)	256 (384)	329	グラフィック	38	37	31	30	136
					イラスト	0	1	32	35	68
					デジクリ	24	36	33	32	125
	プロダクトデザイン学科	48 (64)	192 (256)	212	P C D	0	0	0	8	8
					I P D	0	0	0	4	4
					プロダクトコミュニケーション	20	26	26	8	80
				ライフクリエイション	28	35	31	26	120	
建築学科	32 (48)	128 (192)	106	建築	30	19	24	33	106	
	計	208	832	775	学年計	205	217	177	176	775
マンガ学部	マンガ学科	168	672	555	カートゥーン	29	26	38	33	126
					ストーリー	75	70	69	67	281
					マンガプロデュース	15	24	-	-	39
					ギャグマンガ	20	25	-	-	45
					キャラクターデザイン	34	30	-	-	64
	マンガプロデュース学科	(40)	(160)	72	マンガプロデュース	0	1	30	41	72
アニメーション学科	64	256	275	アニメーション	71	65	79	60	275	
	計	232	928	902	学年計	244	241	216	201	902
ポピュラーカルチャー学部	ポピュラーカルチャー学科	118	472	156	音楽	57	55	-	-	112
					ファッション	17	27	-	-	44
	計	118	472	156	学年計	74	82	0	0	156
人文学部	環境社会学科	(120)	(480)	0		0	0	0	0	0
	社会メディア学科	(175)	(700)	2		0	0	0	2	2
	文化表現学科	(155)	(620)	4		0	0	0	4	4
	総合人文学科	300 (450)	1200 (1800)	778		108	151	214	305	778
		計	300 (450)	1200 (1800)	784	学年計	108	151	214	311
学部計		1,098	4,392	3,434		823	908	793	910	3,434

※ () 内は2012年度以前の定員

(単位：人)

大学院	専攻	入学定員	収容定員	現員数				
					1年	2年	3年	専攻計
芸術研究科	博士前期課程 芸術専攻	20	40	44	22	22	-	44
	博士後期課程 芸術専攻	5	15	10	1	3	6	10
	計	25	55	54	23	25	6	54
デザイン 研究科	修士課程 デザイン専攻	10	20	9	3	6	-	9
	修士課程 建築専攻	5	10	2	1	1	-	2
	計	15	30	11	4	7	-	11
マンガ 研究科	博士前期課程 マンガ専攻	20	40	37	15	22	-	37
	博士後期課程 マンガ専攻	4	12	11	3	6	2	11
	計	24	52	48	18	28	2	48
人文学 研究科	修士課程 人文学専攻	10	20	15	5	10	-	15
	計	10	20	15	5	10	-	15
大学院計		74	157	128	50	70	8	128

総計	入学定員	収容定員	現員数
	1,172	4,549	3,562

(8) 就職等の状況

◎2014年度卒業生の就職実績 (2015年4月26日現在)

学部	就職者数	進学者数	主な内定・進学先
芸術学部 卒業生 211名	114名	17名	【ゲーム】コロブラ/ニューロン・エイジ 【映像・アニメーション】ILUCA/フリー・フォーム・カンパニー 【服飾】川島織物セルコン/タキヒョー/山田繊維/宇仁繊維/イケテイ/ルシアン/福田喜/はるやま商事 【流通・小売・サービス】大津コンピュータ/スタジオアリス/ガリバーインターナショナル/マックス・ジャパン/西尾/ヴァイタル・インフォメーション/のさか 【メーカー】三笠産業/大光精機/ブロンズ/安田念珠店/エンゼルプレイングカード 【その他】春日大社/堺市農業共同組合 【教職】兵庫県立播磨南高等学校/神戸市立友が丘中学校 【進学】京都精華大学大学院/京都市立芸術大学大学院/大阪市立大学大学院

学 部	就職者数	進学者数	主な内定・進学先
デザイン学部 卒業生 156 名	86 名	5 名	【広告・印刷・デザイン事務所等】DNPエス・ピー・テック/カカコム/TCA/bitzgraphics/クローバーデザイン/Zap! /エムハンド/日本カラーフォトスタジオ/つむら工芸/ジールプラス/OPERA/【製造・商社】ホンダテクノフォート/グローリー 【服飾・雑貨・小売】京都清水坂ガラス館 【住宅・建設】トーヨーキッチンアンドリビング/デザインアーク/近畿測量/ダイシン建築設計事務所 【ゲーム・アミューズメント】任天堂/グリー/ニューロン・エイジ 【写真】SGフィルダー 【その他】NPO法人 Co.to.hana/岡山フードサービス/インターグループ/オックス・クリエーション 【進学】京都精華大学大学院/武蔵野美術大学大学院
マンガ学部 卒業生 178 名	79 名	3 名	【ゲーム】コナミデジタルエンタテインメント/グッド・フィール/ニューロン・エイジ/ラクジン/PRIMWORKS 【メーカー】ナイスクラブ/くれない 【IT・Web】パウコミュニケーション 【映像・アニメーション】京都アニメーション/スタジオディーン/フッズエンタテインメント/フォトン/マジックカプセル 【流通・小売・サービス】P&Gマックスファクター合同会社/花王カスタマーマーケティング/テイル/シミズ薬品/レッドバロン/ドン・キホーテ/キラメキコーポレーション 【その他】社会福祉法人西陣会
人文学部 卒業生 210 名	118 名	14 名	【流通・小売】コスモス薬品/バロー/日本レンタカー関西/京滋マツダ 【服飾・雑貨】西陣まいづる/京朋/和光/クロスカンパニー/きものブレイン 【広告・印刷】ウエーブ/トラコム 【食品】鼓月/西谷堂/たねやグループ/美濃吉 【情報】コスモネット/京都工業 【旅行・レジャー】ケイアイコーポレーション 【メーカー】積水ハウス/エンゼルプレイングカード/太田種苗 【公務員他】京都市役所/京都市農業労働組合 【医療・福祉】嵐山寮/洛和会 【その他】日本郵便/スペース/七彩/京都府信用漁業組合連合会/倉吉信用金庫/春日大社 【進学】京都精華大学大学院/近畿大学大学院/宮崎大学大学院
計 755 名	397 名	39 名	

2. 事業の概要

(1) 教育事業

① 国際化の推進

グローバルな人材の育成や地域社会の発展支援などの社会的要望や、高等教育政策からの要請に対応するため、国際化についての方針「京都精華大学 グローバルビジョン」を定めた。国際的な視点を育てるカリキュラムの構築、多文化交流を可能にするプロジェクトの推進を掲げ、海外への学生派遣の促進、海外協定校との教育研究活動の連携強化、外国人留学生受入数の増員等について 2015 年度からの具体的な数値目標を定めている。また、それに向けて、国際教育部の設置や人員採用、奨学金規定の整備等、取り組みの準備を開始した。

2014 年度に関しては、各学部・研究科において、外国人正規留学生を 219 名（学部 150 名、大学院 69 名）受け入れた。交換留学では、本学学生の派遣は 9 校（韓国、台湾、ドイツ、米国、オランダ、フィンランド、イギリス）に 11 名、受け入れが 15 校（タイ、韓国、台湾、中国、米国、イギリス、オーストラリア、スウェーデン、オランダ、フィンランド、フランス）から 24 名、短期海外フィールドプログラムでの学生派遣は 5 つのプログラム（韓国、台湾、スペイン、米国、フランス）に 80 名が参加した。また、日本文化研修等の短期プログラムでの留学生受け入れ、海外客員研究員の受け入れのほか、本学教職員の学外研究や国際会議への派遣も実施した。

② 人文学部 2015 年度再編準備

人文学部では教学内容の充実による定員充足率の改善を目的とし、2015 年度以降の入学者向けに、学部再編のための学則変更を行った。常務理事会は、カリキュラム編成や担当教員配置の立案、運営体制の構築などについての検討と提案を「人文学部 2015 運営委員会」へ付託した。運営委員会ではカリキュラムおよび教員編成案を策定。教員採用については「人文学部 2015 人事委員会」が審議を行い、規程に則って採用活動を実施した。専任教員 5 名、特任教員 2 名の採用（うち 1 名は 2016 年度採用）、客員教員 2 名の任用を決定した。

③ 建築学科 定員充足率改善のための教育改革

定員充足率の改善が課題であるデザイン学部建築学科に関して、2013 年度から継続して学科長と常務理事との定例会議を実施し、教育改革活動を行った。アンケートと面談による在学生の要望把握、その対策の実施、カリキュラム再編にともなう学則改定を行った。建築士養成を明確に打ち出した学生募集活動を行い、志願者数は 56 名（2013 年度入試）から 76 名（2015 年度入試）に、入学者は 20 名（2013 年度入試）から 34 名（2015 年度入試）となり、改善の傾向がみられる。（建築学科定員 32 名）

④ 新設学部・学科の教育環境整備

2013 年度に再編・新設した学部学科について教室環境の年次整備を行った。ポピュラーカルチャー学部の実習棟として「友愛館」が 2014 年 3 月に竣工し、2014 年度より 1～2 年生

が使用を開始した。音楽コースは録音スタジオ、6室ある練習室には楽器や機材を備えている。ファッションコースは工業用ミシンを備え、学生個人の制作スペースを用意した。また、音楽ライブやファッションショーを開催できる多目的ホール「アゴラ」を設置し、イベント等で活用している。

その他、デザイン学部イラスト学科（風光館）、マンガ学部マンガ学科キャラクターデザインコース（本館）、同ギャグマンガコース（自在館）に関しても、入学者数や運営体制に対応して、学年教室の机・椅子の整備、教卓AV装置の整備等、学習環境を整えた。

⑤ 補助金を活用した ICT 設備の充実

私立大学等研究設備整備費等補助金にて、講義教室・実習室の視聴覚機器を更新した。

黎明館の3教室の映像表示機器を改修したほか、デザイン学部、芸術学部の ICT 活用基盤整備事業として、3DCAD ソフトウェアや2D デザインソフトウェア、大型3D プリンターを導入し、それらを活用できる基盤整備を行った。その他、教室配置変更等に伴うネットワーク配線・電源工事を本館、対峰館、自在館、風光館、究明館、対峰館、流溪館、清風館で行った。

(2) 研究事業

① 国際マンガ研究センター

国際マンガ研究センターでは、学術的調査、研究活動を促進している。

大手雑誌出版社との相互連携強化に努め、50年分の少女雑誌のデータベース作成の研究受託事業を実施したほか、日本のマンガ・アニメ・ゲーム・メディア芸術の振興を目的とする「文化庁メディア芸術コンソーシアム事業」では、研究者や研究機関のネットワークを用いた積極的な支援を行った。

また、京都市とは2013年からの継続事項として、経産省が主導する「コ・フェスタ」の京都市オフィシャルイベント「KYOTO CMEX」実行委員会に参画、マンガミュージアムが第二会場となったマンガイベント「京まふ」等、コンテンツ産業の振興支援を行った。

2014年11月には各国のマンガ研究者が参集する第6回国際学術会議をオーストラリア・ウーロンゴン大学にて開催。その他、海外からの講演依頼や展示会・イベントなどの現地開催要請は増加しており、リサーチフェローやインターンシップの受入依頼も増加傾向が続いている。

② 全学研究センター

全学研究センターは、共同研究の推進、科学研究費助成事業等外部資金の獲得、紀要等研究成果の公開、出版助成事業などの研究支援事業を展開した。

共同研究は、2009年のセンター発足以来8研究プロジェクトを立ち上げ、2014年度も新規に2研究プロジェクトを立ち上げた。科研費においては、12研究プロジェクトが本学教員を研究代表者として継続中である一方、2014年度採択数は3件にとどまっており、2014年度に制定した「科研費申請奨励研究費規程」を足がかりに、さらなる対策が望まれる。

「京都精華大学紀要」は第 45 号ならびに査読制度を導入してから 10 号目となる第 46 号を刊行。国立国会図書館、国内研究機関約 400 機関への配布とともに全学研究センターホームページで電子データを公表した。出版助成事業においては、2014 年度は 3 冊を刊行し、累計 13 冊となった。また、全学的な研究活性化に向けて実技系教員向けに芸術部門を設けた。

これらの研究活動、研究成果は全学研究センターホームページにおいて公開しており、本学の研究を社会に広く公表するとともに社会還元に向けた取り組みを展開している。

(3) 社会連携

① 京都府との包括協定の締結

2014 年 6 月、京都府と包括連携協定を締結した。2017 年度末までの 3 年を期限に、教育研究の成果発信、フィールドでの研究を活かした人材育成、地域貢献や地域交流を目的に活動する。2014 年度は、マンガ学部授業内での啓発用マンガ制作（看取りについて考える、薬物の危険性を伝える等）を受託して取り組んだほか、府庁内での催し「歓芸祭」にポピュラーカルチャー学部音楽コースが出展した。

② 社会連携センターの活動

社会連携センターでは、社会と連携した産官学連携事業の推進、社会に向けた公開講座プログラムの開催を積極的に実施した。

教育研究活動の向上と創造的資源の活用を目的とした産官学連携事業「クリエイティブ・コラボレーション」では、マンガ、プロダクトデザイン、グラフィックデザインに関する案件が増加し、教員の理解や協力を得て、マンガ冊子の発行やプロダクト商品のデザインを受託した。また、近年の産官学連携プロジェクトの実績を紹介した冊子「社会連携事例 2010-2015」を作成し、学内外への配布を行った。

公開講座プログラムとしては「アSEMBリーアワー講演会」を 8 回実施し、1386 名の参加があったほか、「公開講座ガーデン」は 9 講座に 182 名、「こどもガーデン」は 13 講座 225 名の参加があり、いずれの講座も高い満足度を保持している。

③ 学外施設での事業

四条烏丸のサテライトスペース「kara-S (カラス)」では、ショップエリアで在学生・卒業生・教員によるアートグッズや書籍等の販売、ギャラリーエリアでは作品展示や連携事業によるプロジェクトの発表会を行った。2013 年にリニューアルオープン後、研究発表の場としての活用が定着し、2014 年度のギャラリー使用件数は 39 件、稼働率は 98%であった。

京都市との共同事業として運営する「京都国際マンガミュージアム」は、本学のマンガ教育・研究活動の成果を発信すべく、企画展や講演会を積極的に実施した。2014 年度の総入場者数は対昨年比 5%増の 276,841 名であった。なお、有料入場者率は 65%、外国人入場者率は 13.2%であった。企画展では「土田世紀全原画展」「京都 艦これ展」「青池保子 ～華麗なる原画の世界～」が盛況であった。また京都市とは「KYOTO CMEX」事業や「京都マンガガールズコレクション」「ニューイ・ブランシュ KYOTO」等の事業を継続して実施し、地域社

会の文化活動に貢献している。

(4) 学生支援

① 新しい教学情報基盤の稼動と活用

2014 年度より学生生活総合支援サイト「セイカポータル」を導入し、運用を開始した。主な機能は履修登録、登録科目の確認、成績情報、休講・補講情報のほか、奨学金募集やキャリアガイダンス等、各種情報の案内である。事務局が発信する情報について、教職員・学生がそれぞれの専用ポータル画面から、時間や場所を問わずアクセスすることが可能となった。在学生や教職員対象の説明会を開催し、活動促進を図った。

② キャリア形成支援

在学生へのキャリア形成支援として、キャリア科目の充実、進路ガイダンスの拡充を行った。講座内容も見直し、早期キャリア形成を目的に受講対象を 2 年生まで広げたほか、女子学生向け、ゲーム業界希望者向け等、対象を限定したセミナーも開催した。更にサポート体制を充実させるため、学生ピアサポートを本格実施し、内定を得て進路を決めた 4 回生の有志 5~6 名をサポート者として、進路についての悩みや相談を受ける体制を整えた。

③ インターネット出願の導入

入学試験時にインターネットで出願できるシステムを導入した。2015 年度入試の出願者 1325 名中、インターネット出願は 894 名で 67.5% を占めた。入試種別では時期が遅いほどインターネット出願比率が高くなっており、次年度はさらに高まると予想される。2015 年度には志願者の出願手続きの簡便化を推進させるため、教学用業務システムと統合する予定である。

④ 共用施設設備の整備

老朽化が目立っていた悠々館の学生食堂を改装し、床面を打ち放しコンクリートから P タイルへ改修、テーブルセットの刷新も行った。また、各校舎の旧式トイレを改修し、和式から洋式トイレへの入れ替え、人感センサー照明を導入した。なお、これらは「キャンパスライフ・アンケート」の結果を元に学生の声も反映させている。その他、各校舎の施設設備の継続的な改修、機器の更新を行い、教育研究環境の整備を継続的に進めている。

また、2013~2014 年の台風や豪雨の影響により崩落していたキャンパス内の森林斜面の防災工事を実施し、2015 年 3 月に工事を終えた。

(5) 管理運営

① 大学ガバナンスの推進

大学のガバナンス改革を目的とした学校教育法の改正を踏まえ、教授会規程を変更した。また、本学にふさわしいガバナンス形成を目指し、理事の担当区分の変更を行ったほか、組

織や各委員会、会議体の役割確認と見直しを図り、全学を俯瞰した視点から検討できる会議を開催して定期的に協議を行った。

本学の教育研究の特色化を図るため、「京都精華大学 教学の中期方針 2015～2017」を制定した。教養教育を基礎とした全学的な教育、多文化との交流教育、自由自治に触れる教育を推進することを定め、教職員へ周知した。また、「管理運営に関する方針」「内部質保証に関する方針」「社会連携・社会貢献に関する方針」「大学として求める教員像および教員組織の編成方針」「教育研究等環境の整備に関する方針」「学生の支援に関する基本方針」等、教育環境の方針も定め、ホームページで公開した。

② 大学認証評価への対応

2015 年度に大学認証評価を受審することを決定し、自己点検・評価運営委員会の元に自己点検・評価実施委員会を設置して活動を集約し、全学的視点から評価活動を行った。2014 年度より、現場の視点からの点検・評価活動を行えるよう、各担当理事、学部長、研究科長など各単位の責任者を担当者と位置づけ、自己点検・評価運営委員会の構成員とし、再評価を行った。2015 年 3 月に、点検・評価報告書、根拠資料、大学基礎データの提出を行った。

また、本学の教育研究水準の適切性及び妥当性に関する評価を行うことを目的に「外部評価委員会規程」を制定し、学長の諮問機関として「外部評価委員会」を設置した。

③ 事務組織の人員配置

事務組織の人員配置について、法人の財政状況や今後の教学改革の展開、在職者の年齢構成バランスを見据えながら実施している。嘱託職員の契約期間満了による退職後の補充要員を必要最小限にとどめ、若年層の専任職員の比率を上げ、これまで以上に専任職員が主体的かつ効率的に業務を遂行する体制を強化した。2014 年 10 月に 20 代および 30 代前半の新規事務局専任職員 3 名の採用を行った。また、新人研修として、大学業務全般に関する基礎知識を身に付けるための研修を数ヶ月にわたって実施した。

④ 法人用業務システムの導入

事務局内での法人用業務システムについて、複数あったシステムの統合を行い、業務の簡便化を図った。法人用業務システム（管財、経理）と教学用業務システム（教務、学生、就職）とは別システムではあるが、データ連携を整備した。また、教学用業務システムを整備したことで、在学生から卒業生までの情報を同一システム上で扱えるようになった。

以上